

ECでJETROと連携

シンガポール向け輸出を支援 We Agri

農水産物の輸出と海外マーケティングを手掛けるWe Agri（根岸健CEO、東京都中央区）は、日本貿易振興機構（JETRO）が展開するEC販売プロジェクト「JAPAN MALL」事業において、シンガポール向けの食品輸出で連携することを発表した。同事業は、世界60以上の連携先ECサイトのバイヤーに商品を紹介し、成約した商品のプロモーションを連携先とシエ

ロが実施するもの。原則、国内納品・国内買取り・田建て決済で取引が完結する。昨年度は全道府県から約2300社が登録し、延べ2000社以上の成約があった。一方、We Agriではシンガポール向け越境ECとして、生鮮食品や加工品を一般消費者に販売する「Tokyo Fresh Direct」、レストラン・小売店向けの「Tokyo Fresh Biz」、高

級スイーツ販売の「Ginza Sweets」を展開。さらに今年3月には海外販路開拓支援サービス「コネクトアジア」を開始した。このたびのシエトロとの連携では、シンガポール向けの食品輸出として「JAPAN MALL」登録商品から選定し、買取りで仕入れを行い、自社ECや提携先EC、店舗にてプロモーションと販売活動を行う。

We Agriではこのほか、県や経済団体と連携して地域産品の輸出拡大に向けた事業者支援を行う。シンガポール向

けにコネクトアジアの提供と合わせ、マーケティングから輸出業務まで一貫して行うもので、佐賀県を皮切りに、このほど京都商工会議所、にいがた産業創造機構（NICO）との連携を発表した。

京都では、10月に開催される商工会議所運営の展示会に出展し、輸出に対する意欲のある事業者にアプローチしていく。新潟ではNICOの今年度「シンガポール食品アクトマーケットینگ事業」に採択され、県内の食品事業者15社の販路形成を支援する。